



1年間様々なお協力ありがとうございました！

保護者の皆様や地域の方々のご協力とご支援により、平成30年度が終了します。ありがとうございました。

3月22日の修了式では、1・2年代表の立派な所感発表があり、来年度に向けての意欲を感じました。新年度はもうすぐです。良いスタートが切れるように、この春休みにしっかり心の準備をするようお話しください。



修了式 校長式辞より

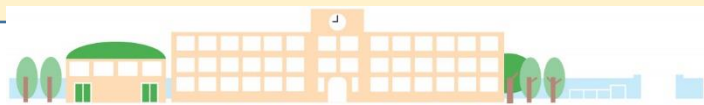
1年生についてお話をします。この1年はあっという間でしたね。1年生は、一人一人のもっている力が大きいと感じています。特にソフトボール部、吹奏楽部が県大会に行くことができたのは、皆さんの貢献が大きかったです。農業体験学習の際にも、しっかりと活動してきたと聞いていますし、私も出発式とは打って変わってまとまりのある帰校式を見て、成長を感じました。

ただ、予餞会の出し物を見る限り、迫中の1年生としては、まだ物足りません。「常に全体のことを考え、前向きに取り組むこと」「正しくないことを正しくないと言えぬ勇気」「言われたことを素直に受け止め、改善する潔さ」「正義を貫くことを支えようとする周りの雰囲気」。これらを創り上げることが、新2年生として1年間で克服すべき大きな課題だと思います。私は、そして迫中の先生方は、課題を克服しようとする皆さんを全力でサポートしたいと思います。ぜひ、新1年生から尊敬される、とてつもなく大きな学年の力を付けることを期待しています。

次に2年生にお話をします。2年生の皆さんは、明るく、まとまりがあります。1年生の良き手本です。迫中祭で、私が本部席から見ていて一番盛り上がっていた応援席は、2年生でした。3年生では？と思うほどのそのまとまりぶりは、合唱コンクールでも発揮されました。賞こそ逃しましたが、その存在感は大きかったです。そして予餞会。その手づくり感、皆さん一人一人の意識の高さ、そして、生徒と先生の共同作業は素晴らしかったです。学力面でも夏休み明けよりも冬休み明けの実力テストの合計点が15点アップしており、これは県平均とほぼ同じ、仙南地区ではトップクラスという頑張りを見せています。3年生に進級しても、その勢いのまま1、2年生を引っ張って行ってほしいと思います。

ただ、課題は駅伝大会の開会式で古内先生が話していた件です。大会当日の朝から不安でじたばたしていた姿、辛いことから逃げたいと思う気持ちです。これからの人生、どうしても避けられないことがあります。近いところでは、中総体、吹奏楽コンクール、高校入試など、緊張した場面で真剣勝負する場面が必ずあります。その時に、堂々と、ゆったりとした気持ちで、前向きに取り組めるようになってほしいと思うのです。これこそが上級生の姿です。4月から頑張ってください。

生徒の所感より



入学してからもうすぐ1年が経とうとしています。私はたくさんのことを学び、経験し、充実した1年間を過ごすことができました。

最初は小学校と違う生活リズムに慣れず、苦勞した日々を送っていました。しかし、先輩方を見習いながら少しずつリズムをつくり、勉強にも部活動にも一生懸命取り組むことができました。

また、迫中祭や合唱コンクールなどたくさんの行事にも積極的に参加し、協力することの大切さなどを学びました。特に私は、農業体験学習が思い出に残っています。私は農業体験実行委員になり、活動の中心となって成功させられるよう一生懸命取り組みました。その結果、農家の方々もしっかりコミュニケーションをとり、とても有意義な2日間にすることができました。

春には2年生になります。先輩方に頼ってばかりの生活を送ってはいけません。これからはしっかり先輩方を支え、入学する後輩たちに、先輩としてお手本になれるよう、何事にもけじめをつけ、しっかりと生活を送れるよう努力していこうと思います。

(1年 安達 大翔)

私は2年生としてのこの一年間で、様々なことを経験し、人として成長することができました。

まず部活動では、今までずっと頼ってきた3年生という大きな存在がいなくなり、私は「このままで大丈夫なのか」と思いました。2年生主体の新体制では副部長という立場になり、より一層3年生のすごさを知って、自分にできるのか不安でした。しかし、部の仲間たちが団結し、「打倒大中」を目標に、日々練習を頑張りました。そして目標であった大中を倒し、新人大会団体優勝することができました。この優勝は人としての成長や、部の成長どちらにも大きく良い影響を与えました。新人大会後、剣道部はより一層仲が深まり、切磋琢磨しています。あと2ヶ月で中総体です。中総体では新人大会で学んだことを生かし、優勝を目指したいと思います。

次に、学習面です。私は1学期、学習の成果を発揮し、良い結果を得られました。しかし、気持ちを緩めてしまい、2学期はあまり勉強をせずテストに臨みました。すると案の定結果が悪く、1学期からかなり点数が下がりました。私は気持ちを入れ替えて3学期のテストを受けようと思い、テスト1週間前からしっかり準備をしてテストに臨みました。すると勉強したかいがあつて点数が上がりました。

3年生になったらテストが多くなるので、しっかり準備をして受けたと思います。最後に、部活動、学習面、どちらも良い経験をしたので、この経験を生かして努力を重ねていきたいと思っています。

(2年 舟山 颯人)

私たち執行部は、3学期、新しい取り組みを2つ行いました。

一つ目は、生徒会新聞の掲示です。これは中央委員会だよりの内容を変えたもので、すでに3枚ほど掲示しています。私の公約でもあるので、自分から取り組むことができ良かったです。しかし、工夫次第で、もっと良くなる部分があると思います。それを含めて、来年度は今年度より良い新聞にしていきたいと思っています。

二つ目は、目安箱の設置です。全校生徒からの意見をいただき、改善点もいくつか見つかりました。来年度は募集をかけるときなど、目安箱の活用を幅を広げていきたいと思っています。

来年度は後輩が入り、2年生は最上級生、1年生は先輩という立場になります。常に手本となる態度を心がけ、学校生活を送りましょう。新年度になれば入学式や対面式などの大切な行事もたくさんあります。特に対面式は新しい取り組みを考えているので、一学期最初の大きな活動になります。スムーズな運営ができるように進んで仕事を探していきたいです。また、有志企画も考えているので、生徒の皆さんのご協力も、よろしくお願いします。

(生徒会執行部 相澤 真梨恵)

お世話になりました！お元気で！

本日の別紙のお知らせのとおり、4名の先生方・職員が船迫中から新天地に行かれます。お世話になった4名からごあいさつの言葉をいただきましたので、紹介いたします。



生徒たちの元気と笑顔、そして保護者の方々のご協力に支えられた3年間でした。同じ町内への転勤となりますので、また顔を合わせる機会もあると思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。3年間、ありがとうございました。

教諭 大槻 重光

船迫中学校でお世話になった7年間、その間に来室したたくさんの生徒との何気ない会話から様々な相談まで、一緒に悩み、笑い、泣き、時には叱咤激励した時間こそが、私のかけがえのない財産となりました。今まで出会った生徒の皆さん、保護者の皆様に深く感謝申し上げます。

養護教諭 鶴淵 暁子

初めて中学校に勤務し、大変貴重な経験となる3年間を過ごさせていただきました。船迫中学校で学んだこと、温かく学校を支えていただいた保護者の方々、元気に挨拶してくれた生徒の皆さんを忘れずに、次の学校でも頑張ります！ありがとう、迫中！！

事務職員 栖原 尚也

6年間ありがとうございました。みんなには明るく声をかけてもらったり、笑わせてもらったり、たくさん元気をもらいました。まだまだ成長していくみんなと一緒に学んでいきたい気持ちでいっぱいですが、これからは地域の人として見守っていただけたいと思います。

学習支援員 羽田 泰代